

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	港湾空港課 土肥美実	電話番号	0852-22-5228
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	港湾整備事業（漁業）		
目的	(1) 対象	港湾を利用する漁業従事者等	
	(2) 意図	漁業活動が安全で効率的に行えるようにする。	
事業概要	漁業従事者等が安全で効率的な漁業活動を行えるよう岸壁や防波堤等の港湾施設を整備する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	岸壁の整備率	目標値		38.3	45.1	51.8	58.6	%
	式・定義	岸壁の実施済み延長／岸壁の計画総延長	取組目標値						
			実績値	38.3	45.8	66.8			
			達成率	-	119.6	148.2	-	-	%
2	指標名	防波堤の整備率	目標値		63.3	64.0	67.6	71.1	%
	式・定義	防波堤の実施済み延長／防波堤の計画総延長	取組目標値						
			実績値	59.5	62.4	66.3			
			達成率	-	98.6	103.6	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	271,337	565,553
うち一般財源 (千円)	32,172	35,764

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・岸壁及び防波堤の整備はほぼ目標どおり進んでいる。
- ・益田港は防波堤を先行して整備しており、物揚場の整備が遅れている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・H25年度に久手港の防波堤工事が完了し、港内静穏度の向上が図られた。
- ・H27年度から久手港の防砂堤工事に着手。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・益田港、久手港では航路・泊地が砂で埋塞し、毎年浚渫が必要な状況にある。
- ・益田港については、新たな船溜まり・航路整備に予算を要しており、整備期間が長期に渡っている状況。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・日本海の冬期風浪により、砂が移動し航路・泊地が埋塞する。
- ・益田港の整備は、事業費が不足している。

③原因を解消するための「課題」

- ・浚渫費用を軽減するための抜本的な対策が必要。
- ・益田港の整備は、コスト縮減に努めると共に、重点的に割当を行い、暫定的な完成を目指す。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・益田港の新たな船溜まり・航路の暫定供用に向けて防波堤等の整備を急ぐとともに、現航路等の維持浚渫を継続し行う。
- ・久手港の防砂堤整備をH27年度から始めており、早期完成に向け整備を急ぐとともに、航路等の維持浚渫を継続し行う。